

東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 生活環境情報専攻 野崎淳夫研究室

健康・快適な室内環境の創造を目指して

当研究室では、健康・快適な室内環境の創出を目的として、室内空気環境分野の研究活動を行っています。現在、当研究室には教授1名、助手1名、博士課程1名、修士課程1名、学部4年生4名、学部3年生4名の総勢12名が在籍しています。研究活動以外では毎年イベントが開催され、とても交流の多い研究室です。

私たちは約90%を室内で過ごすと言われており、室内の温熱や空気質環境が人間の健康・快適性に大きく影響を与えるため、住まいの快適さはそこに住む人々の生活の質を大きく左右する大切な要件です。

室内においては多数の汚染物質発生源が存在します。その広範囲の発生源を調査して、室内空気汚染問題の解決が図られています。また、空気清浄機等の汚染対策技術の研究開発も数多く行われております(Fig. 1, 2)。

そのため当研究室では、室内環境に関するテーマを基に様々な研究を行っています。

例えば、下記に示す研究テーマについて日々研究を進めております。

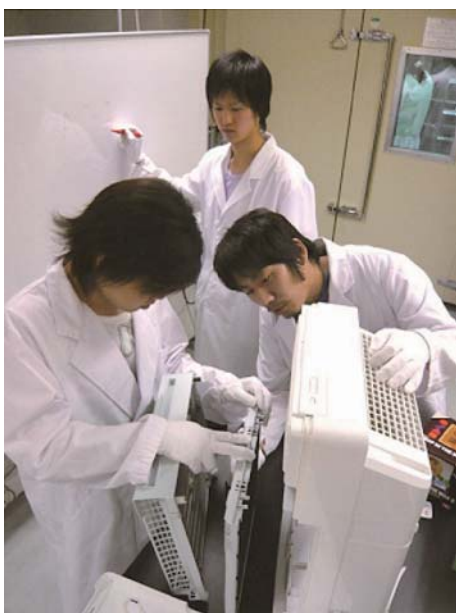


Fig. 1 空気清浄機の調査

研究テーマ

発生源発生量

家庭用機器(開放型燃焼器具, 家電製品)・家具(一般家具, 住設家具)・事務機器・建材(複合材, 床下構成部材, フローリング)・塗料・接着剤・衣料品・防蟻・防虫剤・学校家具備品

汚染対策技術

家庭用空気清浄機・ベイクアウト技術・住設機器・畳材・多孔質建材・換気システム・光触媒利用製品・オゾン利用製品・塗膜剤・化学吸着剤・日用汚染低減対策製品

健康的室内環境の設計手法

発生化学物質の検出頻度, 強度に関する検討・健康的空気環境を提供する住宅設計手法の開発

室内臭気汚染とその対策技術

トイレ空間における臭気物質発生源, 消臭剤の汚染物質除去特性, トイレ用脱臭装置の汚染物質除去

室内濃度予測手法

設計段階において建築後の室内化学物質濃度の予測

実測調査

一般住宅や仮設住宅における室内環境の実測調査
(博士課程 二科妃里)



Fig. 2 実験室